（様式第３号）

企業・団体名（　アルピコホテルズ株式会社　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【赤欄黄】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （具体などの取り組既が あれば、併せて記載） （【赤欄黄】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進･登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、管理部門及び事業所責任者が積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している 研修や周知活動を継続的に実施。相談窓口も設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容を経営者及び事業所責任者を含め共有している。 ・長時間労働防止のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている(セクショントレーニングを導入しフォローアップを実施)				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・安全衛生委員会を定期的に開催し、労災防止、健康維持等、労働環境の整備・改善のための確認及び活動を行っている			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する理解を深めるための研修を実施 (オンラインを含む)			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が活躍できる社内チャレンジ制度を設けている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している（一般職研修、管理職研修、接遇研修など）				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制を整えている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・安全衛生委員会による従業員の健康保持･増進の取り組みを行っている ・健康経営に関わる啓蒙活動、階段利用の奨励を行っている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・事業所ごみの分別廃棄を実施し、総量削減に努めている ・提供する料理の分量を調整し、食材ロスの削減を実施。 30･10運動にも参加している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・省エネ法の特定事業者としてエネルギー使用量を把握し、エネルギー使用合理化の計画を作成している							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・省エネ法の特定事業者としてエネルギー使用量を把握し、エネルギー使用合理化の計画を作成している ・EV車の利用、顧客用EV充電スタンドの設置を行っている ・一部施設からCO2フリー電力の使用を開始している							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適正な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【赤旅帯】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （具などの取得証拠があれば、併せて記載） （【赤旅帯】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した製品、サービスの提供を通じて生物多様性の保全に配慮している ・定期的に周辺清掃や国立公園・国定公園を含む地域の清掃活動に参加し、生態系の維持や地域環境の美化に取り組んでいる						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・客室アメニティは希望者のみピックアップする方式を採用するなどしてリデュースを図っている ・運泊するお客様の客室リネンやアメニティの交換は必要最低限となるような取り組みを行っている。 ・レストランにおいてリユース可能な箸を使用している ・レストランで生ずる使用済みワインコルクを再資源化する活動に参画している												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ									6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・宿泊予約サイト等を通じて各施設におけるサステナビリティの取組状況を開示している												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・一部施設から再生可能エネルギー電源に由来するCO2フリーの電力の使用を開始している							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・温泉の安定供給のため、源泉の揚湯、配湯設備の計画的な更新を行っている												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含むコンプライアンスマニュアルを社内規程として整備している ・定期的にコンプライアンス研修やコンプライアンス運用ルールの発信を行い、役職員へ周知している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争の禁止を含むコンプライアンスマニュアルを社内規程として整備している ・定期的にコンプライアンス研修やコンプライアンス運用ルールの発信を行い、役職員へ周知している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・商標等知的財産権の取得・管理を行っている ・知的財産権の保護を含むコンプライアンスマニュアルを社内規程として整備している								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・「個人情報保護方針」をホームページで公表している ・社内研修を行い情報管理のルールを役職員へ周知し、適切に管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している			3					8	9	10							17

		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （具などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品・サービス使用時に想定される)リスクの洗い出しを実施している ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を実施している			3.9									12.4					
30	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を事業所内で共有し、役職員へ周知している ・社内表彰制度を実施									9								
31	製品・サービス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・レストランにおいてSDGsを実践した料理のコースやメニューを提供している ・プラスチックアメニティの削減などSDGsをテーマとした宿泊プランの造成を進めている						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・自動販売機の売上の一部をこども食堂の運営に寄付する仕組みに参画している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域の団体の会合への参加等を通じて自社事業が地域に与える影響を確認・把握し、適切に対応している ・地域の人々が参加可能なイベントを開催し、自社事業を知ってもらう機会としている				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・定期的に事業所周辺地域の清掃を行っている ・大学・高校などで講義を行い、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいる ・地元の高等学校や大学、調理専門学校からの研修を受け入れている				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・レストランや宴会・ブライダル部門等では地域の生産物や特産品　を積極的に利用・活用している ・地域の特産品をショップや外販で積極的に販売している								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化している ・経営方針の説明会を定期的に実施している								8	9								17
37	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・法令遵守について社内規程に定めるとともに、社内報や掲示物等で法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を継続的に実施している																16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・本部の部署において企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する体制をとっている																16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・パートナー企業向けの交流会を定期的に実施している ・イベント等を通じて地域住民に自社の活動を知ってもらう機会を設けている ・その他、適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている																16	17
40	組織体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・リスク管理規程を定め、リスクの洗い出しや評価を行った上で、適切な対策を講じている																16	
41	組織体制	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																			16	
42	組織体制	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施している									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックと あわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定